



《北海道日高高等学校 こもれび祭》

# 日高町 議会だより

No.51

平成30年8月23日発行  
日高町議会

新しい議会スタート.....	2p
議会6月会議.....	5p
一般質問は10人 「公立小中学校の管理・運営等について」 ほか.....	8p

# 新しい日高町議会が スタートしました

議長

西尾 英俊



この度は選挙で新人4人が加わり、女性議員が2人となった新しい議会がスタートしました。

今後とも、町民の身近な議会、信頼される開かれた

副議長

寺越 哲夫



副議長の要職を担うことになり選挙の重みをしっかりと感じ、スムーズな議会運営に頑張ります。

議会、自由闊達な議論の場としての議会づくりに努め、公平・公正で活力あふれる議会を目指して頑張つて行きます。

さまざまな問題や課題は数多くありますが、日高町の更なる発展と町民皆様の期待と信頼に応えるために、尚一層の努力を重ねて参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

3期12年の経験を糧に

「若い人には希望を、お年寄りには安心を、働く人には生きがい」の初心を忘れずに地域を守り発展させるよう、日々皆様の意見を汲み取りながら、精一杯頑張りますので、ご支援よろしく願います。



小園 暁子

全国的に少子高齢化が問題になり、価値観も多様化しているこの時代で、既成概念にとらわれていては、解決出来ないことが多くなると思います。常に勉強して、町民の皆様に寄り添う気持ちで四年間を過ごしたいと思います。



白石 典昭

第1次産業を中心として、いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまちづくりを勇気と奮起をもって実現していきます。



佐藤 則男

元気で、安心安全と感じられる町づくり、ここにかないホツカイドウ競馬場を活用しての地域おこしを最大目標に、これまでの行政経験を活かし、更なる地域発展のために、皆さんと知恵を出し合い取り組んで参ります。



梅木 聡

次代を担う子ども達の元気な声が聞こえる町、町民の皆様の声を町政に反映し、安心と生きがいのある「住みたい」「住んで良かった」と思う町づくりのため、鋭意努力して参ります。



高橋 克徳

地方議会は、住民の方が自ら代表者を選挙で選び、自分の代わりに地域のことを話し合って決定してもらう機関です。

この4年間、議会改革を推進し、安心して暮らせる町づくりに全力で取り組んで参ります。



工藤 守弘

日高町の将来を考え地域に根ざした「安心して暮らせる町づくり」に町民とともに実現を目指し、全力で諸問題に取り組んで参ります。



真壁 悦夫

若い子育て世代を応援し、学校給食費の無料化、高校生までの医療費の無料化を実現するために力を尽くします。

町民のみなさまの切実な声を町政に届け、安心して暮らせる町を実現するために奮闘します。



互野 利夫

「おもいつきり分りやすい町政を創るため・・・頑張ります！」をモットーに地域資源を生かした政策の判断と行政執行の監視をします。日高町内四地区の均衡ある発展に全力を尽くして取り組みます。



門別 初男

町民の皆様が安心して暮らせる福祉、医療の確立、子どもの学びを支える教育環境の整備、新しい活力を生む新規就農支援、ホッカイドウ競馬存続に向けて全力で取り組みます。



佐藤 はなえ

私の議員生活には、様々な関係者からの、暖かい励ましを受け、5期を迎えることができました。議会本来の役割、機能の充実を図り、自らの研鑽を深め、初心に返って、4年間頑張る決意です。



村井 文夫

「初心を忘れず、常に公正な立場で見つめ、誠心誠意で全力を尽くす」が私の信念です。



神保 一哉

あえて言うならば、甘草事業による「失われた5年間」を、どう取り戻すのか。議会は甘草事業に対し、追認し、方向転換に時間を要したが、町政は議決に依る。議会改革に取り組み、健かで、腰のすわった大鷹町政に伍して、十分な政策議論をしていく。



菊地 日出夫

わたしたちは、今、景気の低迷・少子高齢化、過疎化など取り組む課題は山積みです、町民の皆さんの声を聞き町政に活かしたいと思います。

4月18日に、日高町議会4月会議が開かれました。改選後初めての議会で正副議長の選挙の結果、議長に西尾英俊氏、副議長に寺越哲夫氏が選任されました。

今回の改選で、新人議員4人を加えた新たな体制のもと、各議員に今後の抱負を語ってもらいました。

# ～日高町議会構成～

改選後の議会で次のとおり決定しました。

● 議長 西尾英俊

● 副議長 寺越哲夫

## ● 議会運営委員会・各常任委員会 ●

委員会名	委員長	副委員長	委員		
議会運営委員会	佐藤はなえ	互野利夫	村井文夫 工藤守弘	真壁悦夫 高橋克徳	門別初男
総務・民生常任委員会	工藤守弘	小園暁子	菊地日出夫 佐藤はなえ	神保一哉 佐藤則男	村井文夫
産業・建設常任委員会	高橋克徳	白石典昭	寺越哲夫 互野利夫	真壁悦夫 梅木 聡	門別初男
広報広聴常任委員会	真壁悦夫	梅木 聡	佐藤はなえ 高橋克徳	互野利夫 佐藤則男	工藤守弘 白石典昭

※平成29年議会6月会議の議会委員会条例の一部改正で、平成30年4月9日より「総務常任委員会」と「民生常任委員会」が統合し、新たに「総務・民生常任委員会」となりました。

## ● 一部事務組合議会議員 ●

組 合 名	議 員
日高地区交通災害共済組合議会	小園暁子
胆振東部日高西部衛生組合議会	村井文夫 梅木 聡
日高西部消防組合議会	寺越哲夫 互野利夫 工藤守弘
平取町外2町衛生施設組合議会	佐藤はなえ 門別初男 白石典昭

議会6月会議は、6月19日から21日まで3日間開かれました。

10人の議員が一般質問を行い、活発な議論が展開されました。

株式会社日高アグリ経営状況に関する報告、ホッカイドウ競馬振興株式会社の経営状況に関する報告などがあり、平成30年度一般会計補正予算、辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定についてなどの議案が審議されました。

また、「2019年度地方財政の充実・強化を求める」など、2つの意見書が可決されました。



# 議会6月会議

## 町長の行政報告

**苦小牧信用金庫厚賀代理店の閉店**

苦小牧信用金庫では、平成14年に厚賀支店店舗の老朽化に伴い、同支店を廃止し、町から厚賀出張所庁舎の一部を借り受けて厚賀代理店を開設しておりましたが、人口減少を踏まえた経費削減策として、厚賀代理店を門別支店に集約することとなりました。

店舗営業は、本年8月31日をもって終了することとなりますが、同金庫では引き続き、顧客へのサービス維持のため、厚賀出張所内にATM(現金自動預払機)を設置することを希望しており、その必要な部分について同金庫に使用を許可する予定であります。

### ホッカイドウ競馬

本年度のホッカイドウ競馬につきましては、4月18日に門別競馬場で開幕しました。発売成績につきましては、

6月14日までの19日間で、発売額が58億2000万円となり、前年度とほぼ同水準となっております。

また、このほど平成29年度の北海道地方競馬特別会計収支決算について、単年度収支は10億300万円の黒字になる見通しとの公表がありました。

これで5年連続での黒字となり、関係者の御努力に改めて敬意を表するところであります。

本年度は、門別競馬場「グランシヤリオナイター」の10年目という節目の年を迎えますので、11月8日までの80日間、皆様の更なる御支援と御協力をお願い申し上げます。

### 漁業の近況

平成29年の漁業の状況についてありますが、漁獲量は2808・2トン、漁獲高につきましては、11億8155万円となりました。主な内容といたしましては、さけ定置網漁は全道的に記録的な不漁となったため、漁獲量は247・9トンで

前年度対比50・6%の減となりましたが、市場価格が上昇したため漁獲高は2億5947万円の前年とほぼ同水準となりました。ししゃも漁につきましては、漁獲量は前年を上回る43・1トンで前年対比33・2%の増、漁獲高は8681万円となり前年対比48・9%の増となりました。

29年度漁業の状況

	漁獲量	前年度比	漁獲高	前年度比
さけ定置網漁	247 t	△50.6%	2億5947万円	±0.0%
かれい刺網漁	1066 t	+62.9%	2億5251万円	+36.4%
ほっけ刺網漁	144 t	△30.7%	1368万円	△60.4%
たこ漁	330 t	△30.5%	1億8891万円	△16.7%
つぶ籠漁	56 t	△16.7%	1335万円	△28.6%
昆布漁	13 t	△72.3%	1509万円	△70.4%
ホヤ・柊曳き漁	108 t	△3.0%	4970万円	+2.0%
その他の漁業	840 t	+216.7%	3億8884万円	+37.3%

日高ジュニア卓球クラブ

7・8月に全国大会へ出場

全道小学生卓球大会の結果についてありますが、5月12日・13日に室蘭市で開催された全道大会において、個人戦では、日高ジュニア卓球クラブに所属する門別小学校5年生の吉本はなさんが見事優勝し、7月に神戸市で開催される全国大会へ出場いたします。

また、団体戦では、門別小学校5年、吉本はなさんと同じく5年、秋山晴名さんと同じく5年、山田杏璃さんの3人の選手がチームとして出場し、見事優勝に輝き、8月に東京都で開催される全国大会への出場が決定しております。

全国大会への出場については、日頃の厳しい練習に耐え続けてきた輝かしい成果であり、各選手の努力と健闘をたたえますとともに、全国大会での活躍を期待しております。

事故経過報告

次に、昨年、日高町議会7月及び12月会議において行政報告をさせていたしております。美唄市にあり「北海道せき損センター」にて入院治療をしておりました日高高等学校生につきまして、事故の発生状況から現在までの経過についてご報告させていただきます。



▲日高ジュニア卓球クラブ  
秋山晴名さん、吉本はなさん、山田杏璃さん

事故の概要であります。日高高等学校・日高町産業学習合同学校祭の振替休日でありました昨年7月18日火曜日、当時2年生でありました同級生男子6名で町営プールに行き、当該生徒を含めた2名の生徒が禁止されている飛び込み行為を、競技水泳のように飛び込み台から、それぞれ2回から3回にわたり行い遊んでおりました。当該生徒が2回目の飛び込みを行った際に、入水角度が垂直に近くなり、プールの底に頭部を強打してしまい、意識はあるものの握る力が弱く、身体が動かない状態であるなどの症状があり、日高国保診療所医師の診断において、頸椎に異常が認められたため、専門病院であります「北海道せき損センター」へ救急搬送され、同日、緊急手術となつたものです。頸髄損傷により長期入院治療が必要となりましたことから、

教育委員会、日高高等学校とともに、定期的にお見舞い訪問を実施しておりました。昨年10月に保護者との面談

のため、教育委員会及び地域経済課で訪問した際、医療スタッフとご両親同席のもと、主治医より「当該生徒は復学に対し強い意欲であること、両親も復学を強く望んでいること、高校設置者である地元自治体として、復学に向けた準備を進めてほしい」旨要請がありました。

町長をはじめ、副町長、教育委員会、日高高等学校及び総合支所関係課で協議した結果、復学に向けた応じていくという方針となりましたことから、関係部局、入院先であります北海道せき損センター及び保護者と、生活面や学習・通学面に関する協議調整を進めてまいりました。また、当該生徒も入院当初より日高高等学校・産業学習への復学を唯一の心の支えとして、病院スタッフ及びご家族のサポートのもと、厳しいリハビリを続け、概ね退院後の生活準備が整いました先月5月29日に念願でありました復学を果たしております。

しかしながら、当該生徒の状況は、頸髄損傷という極めて重要な人体組織の損傷であったため、残念ながら、全面的な機能回復には至らず、胸部より下部の麻痺、手で物が握れない、体温調整が出来ないなどの後遺障害がありますので、保護者には職場を休職していただき、町営住宅と一緒に生活していただいております。

また、保護者による通学時の送迎産業学習授業における支援員の配置や、日高高等学校多目的トイレに当該生徒専用台を設置するなど、学習環境整備を実施しております。

教育委員会といたしましては、今後も、日高高等学校及び、日高総合支所関係部局など、関係機関との連携により、高校卒業に向けた取組みを進めてまいりたいと考えております。

# 議決案件

報告

- ▼日高町土地開発公社の経営状況に関する報告
- ▼株式会社日高アグリの経営状況に関する報告
- ▼ホツカイドウ競馬振興株式会社
- ▼ホツカイドウ競馬振興株式会社の経営状況に関する報告
- ▼放棄した債権の報告
- ▼平成29年度日高町一般会計継続費通次繰越額の報告
- ▼平成29年度日高町下水道事業特別会計継続費通次繰越額の報告
- ▼平成29年度日高町一般会計繰越明許費繰越計算
- ▼平成29年度日高町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算

議案

- ▼日高町過疎地域自立促進市町村計画の変更
- ▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定・変更
- 清島辺地
- 日高辺地
- ▼工事請負契約の一部変更（準用河川厚別川河川災害復旧工事（5号箇所）9工区）
- 契約金額変更
- （前）7139万円
- （後）6935万円

原案可決



## ◆30年度補正予算 原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計（第2号）	2億4396万円増	107億1048万円
国民健康保険事業特別会計（第1号）	143万円増	16億5332万円
後期高齢者医療事業特別会計（第1号）	92万円増	1億8301万円
水道事業会計（収益的支出）（第1号）	131万円増	3億5960万円

### ●主な内容

庁舎内ネットワーク改修業務委託及び電算関係備品購入	930万円	普通河川整備工事	100万円
日高地区デジタルテレビ中継局作業路敷設置調査設計業務委託	300万円	団地屋根塗装・外壁屋根改修等工事	3940万円
庁舎ボイラー運転業務委託	244万円	住宅リフォーム補助金	500万円
職員住宅建設及び維持補修、厚賀出張所外壁改修	5445万円	合併処理浄化槽設置費補助金	155万円
コンビニ収納導入システム改修業務委託	278万円	厚賀小学校遊具、富川小学校児童玄関改修工事	236万円
とねっこの湯施設維持補修工事	130万円	体育館煙突解体工事、校舎ホールブラインド設置	173万円
歯科診療所備品購入	250万円	講堂用暖房機購入	109万円
町道維持管理業務	1100万円	門別総合町民センター玄関ポーチ改修工事	260万円
町道・橋梁維持補修工事	1350万円	農業用施設災害復旧工事	400万円
町道14号線改良舗装工事	2000万円	土木施設災害復旧工事等	5300万円



議会6月会議で4件の提出があり、2件が可決され、意見書を関係機関に送付しました。この他2件が委員会付託されました。

### ■2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書

原案可決（提出者 互野利夫議員）

### ■選択的夫婦別姓制度を導入する民法改正を求める意見書

総務・民生常任委員会 付託（提出者 真壁悦夫議員）

### ■教職員の長時間労働解消に向け「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の廃止を含めた見直しを求める意見書

総務・民生常任委員会 付託（提出者 高橋克徳議員）

### ■「子供の貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現にむけた意見書

原案可決（提出者 高橋克徳議員）



工藤 守弘 議員

## 『公立小中学校の管理・運営は』

## 『防災・減災対策は』 『優駿学園の今後は』

【公立小中学校の管理・運営等】

**問** 小中一貫教育の導入を検討していますか。

**答** 今年度中に各中学校区及び日高高等学校に学校運営協議会を設置する予定です。中学校単位で設置する目的の一つとして、義務教育の小中9年間で「地域としてのような子どもを育てていくのか」を話し合う中で、小中連携や小中一貫教育も視野に入れた取り組みを期待しているものです。

**問** 小中学校併置校についてどのように考えておられますか。

**答** 現時点での小中学校併置校についての検討はしておりません。小・中学校の校舎の老朽化が著しく、

大規模改造工事で修繕している状況であります。大規模改造工事は、校舎の外部

工事が全体の70%以上、内部工事は全体の50%以上の修繕で補助対象となるため、工事費も高額になっているのが現状です。今後、この点も踏まえ、各小中学校の状況を考慮しながら、大規模改造工事実施時には単独校と併置校のどちらが望ましいか検討していく必要があると考えています。

〔答弁者 教育委員会管理課長〕

### 【防災・減災対策】

**問** 富川東防災広場の平成29年度の利用状況は、

どうなっていますか。

**答** 消防の訓練で2日、町主催の林野火災合同訓練で1日、陸上自衛隊のヘリコプター離着陸訓練

で1日、富川東防災広場の施設見学で1日及び門別総合市民センターを利用した際の駐車場として6日間となっています。

**問** 「日高防災マスター」が設立されましたが、

どのような内容ですか。北海道では、防災に対する心構えなどを多くの方に知っていただくため、ボランティアによる地域の防災活動を行い、災害時に地域の防災リーダーとして活躍していただく「北海道地域防災マスター」を育成しております。

〔日高防災マスター〕は「困ったときにはお互い

様の精神」をモットーに、地域防災力の向上を目指し、今年の5月27日に設立総会が開催されたところです。

**問** 「1日防災地域学校」実施予定はありますか。

**答** 北海道と北海道教育委員会では、小中学校等の授業時間を活用し、防災に関する授業や避難訓練等を行う「1日防災学校」の取り組みを進めております。当町としても、学校の授業時間を活用し実施することにより、学校生活の中で防災意識を高めるだけでなく、家庭や地域への波及効果が高まるものと捉えており、実施に向けて各学校と協議したいと考えております。

〔答弁者 総務課長、教育委員会管理課長〕

【学校法人優駿学園】

**問** 「優駿学園」について、町として、どのような考えですか。

**答** 「優駿学園」は、平成14年4月に開校し、平成26年3月に学園を休校しました。その後、北海道へ平成28年に生徒募集停止届を提出、平成29年に授業停止届を提出し受理され、現在に至っております。教育委員会としては、今後の学園の動向を注視するところです。

〔答弁者 教育委員会管理課長〕





菊地日出夫議員

## 『(株)日高アグリ』の清算手続きは、『住宅リフォーム促進に関する条例』の延長を

### 【甘草事業の清算】

**問** ①日高アグリは、清算手続きは終わりましたか。

②日高アグリは、資産は、いつ幾らで売却されましたか。  
③町の損失補償に対して、資産売却金から幾ら返還されますか。

**答** ①清算手続きについては現時点では未だ終了していません。現在弁護士が6月末に法的な清算手続きに入るための準備を進めているところです。②資産売却については平成30年3月16日付で株スリービレッジファームに事業譲渡されており、譲渡価格は2000万円と聞いております。③今回の損失補償契約では、日高アグリに対して、町の求償権は法的にはありません。

**問** 譲渡金2000万円は、弁護士の口座に、いつ振り込まれましたか。

**答** 2000万円は、3月27日に入金となっております。

**問** この2000万円の使途は聞いていますか。

**答** 使途は、会社の清算費用に充てられるものと聞いています。

**問** 日高アグリは債権者もいると思いますが、その中には社長も債権があるという聞いています。社長に債権を放棄してもらう考えはありますか。

**答** これから、特別清算の手続きに入っていく中で、弁護士と協議されると思います。放棄されるかどうかというところまでは、承知していません。

**問** 平成25年と平成29年に町は補助していますが、返還請求できますか。

**答** 平成25年に設立当時の運営費補助で80万円、平成29年に菓草の栽培とPR事業に対し補助をしております。いずれも、目的が達成されておりますので、請求する予定はありません。

**問** 日高アグリから、町へ支払われるべき地代金、税金、水道代など全部支払われていきますか。

**答** この後、会社側の経営状況報告させていたなかで、法人町民税の未納分があると聞いていますが、清算手続きの中で、税は、優先されて支払われるとのことです。

〈答弁者 農務課長〉

### 【住宅リフォーム促進】

**問** 住宅リフォーム促進に関する条例は今年度で終わりますが、住民や建設

関係者からは延長を望む声があり、ぜひ延長すべきと考えますがどうですか。

**答** 同条例は平成25年4月1日に3カ年の期限を定めて施行され、その後平成28年4月1日から制度の内容を拡充し、3年間延長されているものであります。依然として住民の要望は多いと考えられます。期間を再度延長することに、町の財政状況を見ながら慎重に検討してまいります。

〈答弁者 管財建築課長〉





神保 一哉 議員

『甘草事業・ひげにんにく事業から全面撤退を』

【甘草事業とひげにんにく事業に対する大鷹町政の総括と姿勢】

**答** 契約書の提出を受けたのは3月16日と確認しています。ただ当時は総務課も企画財政課もその内容を承知していません。

**問** 極く限られた一部の関係者のみで契約書等の取扱い事務が処理されたとすれば、行政組織としては有り得ない事だ。譲渡契約に町有地の「承継契約」があるが、又貸し契約を認めるのですか。

**答** 財務規則に、又貸し契約を認める条項は有りません。

**問** 日高アグリからの町有地返還申し入れが2月28日付で、新会社スリービレッジファームからの貸付申請は3月9日。町との賃貸借契約は3月16日付。この間、財務規則上の手続きは適正に行われましたか。

**答** 本来は管財建築課の担当ですが、一連の業務の中で農務課が担当しました。甘草事業に限定して貸与し、日高アグリとスリービレッジファームの仲立ちと紹介を行いました。

**問** 各課それぞれ所管の条例・規則に基づいて事務を進めるのは大原則ではないのか。3月16日に譲渡契約書が提出されて同日付で賃貸借契約が結ばれているが、これも有り得ない話だ。余りにも不明朗で理屈の通らない事務が行われている。大鷹町長は立起に当たり報道等で知る範囲だが「町政の混乱を何とかしたい」「元気がない」「必要な議論をし、町内の皆さんとも情報を共有しながら話し合いをしていく」等々、発言をされている。そんな

**答** 町は甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**問** 見通しの無いひげにんにく事業の実績と、今後の方針はどうなりますか。収支状況は累積赤字が膨らんでおり、好転の兆しがありません。本年7月末をもって事業を中止したいと考えています。

**答** 甘草事業の清算見直しはどうなりますか。

**問** 当初の予定よりずれ込んでいると聞いていますが、確認をします。

**答** 既に、当事者間で譲渡契約と賃貸借契約が交わされているが、契約内容と事務処理が極めて不適切ではないか。町が精査したのは、いつですか。

**答** 返還問題等が残っており、清算手続きや、今後のスケジュールが判らない状況でもあり、6月25日來庁予定の日高アグリの弁護士に確認をします。いずれにしても皆さんご承知の通り、この事業というのは成功か失敗かを問われれば明らか失敗、そんな結果になりました。町としては考え得る最良の方策で最後の整理をしていきたいと思っております。

**問** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**答** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**問** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**答** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**問** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**答** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**問** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**答** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**問** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**答** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**問** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

**答** 甘草事業から全面的に手を引きます。いろいろと指摘が有りましたが、ほぼ当たっていると思います。悪し、法的な問題等々、これを改めて確認したいと思えます。いずれにしても事務体制において情報の共有が無かったのは明らかであり、この問題に限らず今後の教訓にしたいと考えています。町としては今後一切、手を引きますが、未だアグリに対する道補助金の

《答弁者 町長・総務課長・管財建築課長・農務課長》

（この他、クリーンセンターの閉鎖問題、有害駆除対策、災害復旧と地域農業の振興策についても質問しました。）



互野 利夫議員

『クリーンセンターの継続を』  
『医療機関のスタッフ確保は』  
『町議会議員選挙の投票結果』

【クリーンセンター廃止による地域への影響】

**問** 廃止による地域への影響は、どのように考えていますか。

**答** すべての廃棄物の搬入は平取清掃センターになります。一般家庭や小規模事業者分は、町内巡回の収集車に対応可能です。

**問** 日高町や平取町外2町衛生施設組合構成町の各地域において必要な施設はあると思われませう。特に日高クリーンセンターは、日高町合併前からの施設であり、地域においてはなくてはならない施設です。その点をどのように捉えていますか。

**答** 特徴ある施設の考えについては理解しますが、クリーンセンターにつきましては、平取にも平成22年に作られており、同じ施設が2カ所には必要のないとの組合の判断で今回の廃止に繋がったこととあります。

**問** 日高町単独経費負担で継続は出来ないですか。

**答** 組合で廃止を平成30年度末と決定されており、その後の継続は考えておりません。

〔答弁者 総合支所担当副町長・地域経済課長〕

【医療スタッフの確保】  
**問** 町医療機関のスタッフ確保状況はどのようになっていますか。

**答** 門別国保病院の医師は要請をしております。富川診療所は医師2名、看護師6名、放射線技師1名となっております。日高診療所は医師1名、検査・放射線技師各1名、看護師は7名ですが日高高寿園への派遣等もあり現在5名であります。

**問** 日高診療所の入院病床再開は、いつになりますか。

**答** 入院病床再開に向けたスタッフ募集をしていきます。同時に再開後の経営シミュレーション・経営分析を行い、将来の日高地域の医療における果たすべき役割を検討していきます。

〔答弁者 町長・日高診療所事務長〕



【議員選挙の投票結果】

**問** 3月に行われた町議会議員選挙の投票率は。

**答** 日高地区約79%（H18年約89%、H22年約87%）門別地区は約69%（H18年約78%、H22年無投票、H26年は両地区共無投票）です。

**問** 投票率が激減していますが、入場券の発送や選挙用ハガキの配達遅れによる影響はなかったのですか。

**答** 入場券は公職選挙法施行令で、告示日以降、できるだけ速やかに有権者に届くよう定められており、告示日の夕方に発送しました。入場券・選挙用ハガキは、今回の選挙では告示日の翌日が祭日の為、到着日が遅くなったと思います。

**問** 料金追加で、祝日でも配達可能であり、検討しましたか。

**答** 多額の費用が必要であり、今後、他の方法を投票率を向上させる工夫をしたい。また今回のように、告示期間中に祝日がある場合は、入場券の発送は検討したい。

〔答弁者 日高町選挙管理委員会事務局長〕



眞壁 悦夫議員

# 『JR日高線の復旧を』・『子どもの貧困対策を』 『公営住宅の運営は』

【JR日高線】

**問** 衆議院の国土交通委員会  
会で鉄道軌道法改正案

(黒字経営の事業者にも鉄  
道災害復旧費補助を拡大適  
用する)が全会一致で可決  
しました。情勢の変化を踏  
まえて復旧着手に向けてJ  
Rと国への働きかけを一層  
強める必要があるのではな  
いでしょうか。

**答** これまでも何度となく

日高町村会、日高総合  
開発期成会として日高線の  
早期全面復旧に向けて、国  
を初め、北海道、JR北海  
道に対し要望、要請活動を  
行ってきたところでありま  
す。鉄道軌道法については  
この法律が改正する前から  
JR日高線はもとと赤字  
ということ補助の対象の

事業者であり、JRが復旧  
についてやる気になれば補  
助は成せるものと考えます。

**問** 町長の改選があります

たが、日高門別駅まで  
のJR日高線の運行再開に  
ついて引き続き地元から要  
求の声を上げていくべきで  
はありませんか。

**答** この区間の運行再開に

ついて、管内統一した  
要求としていただけるよう  
協議を進めます。JRは輸  
送密度で全道の鉄道を仕分  
けして、苦小牧―様似間は  
200人未満としてバス転  
換の方向を示しました。で  
は苦小牧―日高門別間だけ  
で見るとどうなのか。線路  
も被災を受けていない、な  
おかつ輸送密度が200人  
を超えるとなればどう考え  
るのかという点をJRに再  
確認したいと考えていま

《答弁者 町長・企画財政  
課長》

【子どもの貧困対策】

**問** 子どもの貧困対策の前  
提となる当町の子ども

の生活実態調査の実施につ  
いて、その後検討しまし  
たか。

**答** 子どもの生活実態調査

は実施しておりません  
が、小学生以下の子どもを  
持つ家庭へのニーズ調査を  
行う予定です。

**問** 医療費の高校生までの

無料化及び学校給食費  
の無料化に向けた助成拡大  
については検討しています  
か。

**答** 中学生までの医療費を

全額助成しており、高  
校生までの残る部分は今後  
検討したいと考えています。  
学校給食費の無料化は、行

えるものなら、行いたい  
ですが、年間3000万円  
くらいかかるので、今のと  
ころ、財源のハードルが高  
いと考えます。

《答弁者 子育て福祉課長・  
保険年金課長》

【公営住宅の運営】

**問** 公営住宅への入居希望

者数はどのように推移  
していますか。

**答** 最近5年間の入居希望

者数は、平成25年度申  
し込みが93人、平成26年度  
は64人、平成27年度は47人、  
平成28年度は48人、平成29  
年度は44人となっています。

門別地区は減少傾向に、  
日高地区は毎年6〜7人で、  
横ばいとなっております。

**問** 公営住宅の入居申し込  
みはこの5年間で93名

から44名に激減しています。  
この傾向をどう考えますか。  
**答** 民間のアパート等も建  
築が進んでおり、そち  
らに、若い方などが入居さ  
れている例も多いのではな  
いかと考えております。

**問** 公営住宅の建築計画と  
解体計画はどうなっ  
ていますか。

**答** 富川の北通団地は今年

度2棟8戸建設、31年  
度2棟8戸、32年1棟4戸の  
計画です。表町団地は30年  
度2棟6戸、31年度2棟8  
戸、32年度2棟8戸という  
計画です。また表町団地に  
ついては、30年度で解体が  
8棟28戸、31年度に解体が  
2棟8戸の計画です。

《答弁者 管財建築課長》



村井 文夫議員

## 『一級河川沙流川の洪水対策は』

【築堤の補強工事による洪水対策】

**問** 1級河川沙流川の洪水対策について、左岸築堤に関する開発局への陳情の結果はどうなっていますか。

**答** 平成15年8月の豪雨災害を受け、平成19年3月に沙流川水系河川整備計画が見直されました。現在の計画に基づき洪水による再度災害防止の観点から、河道断面が不足する区間の河道掘削工事、堤防の安全性を確保するため、堤防の高さや幅の不足している箇所を整備や堤防天板舗装などの補強工事が計画的に進められております。

**問** 平成15年に台風10号による豪雨で大きな被害が出ております。開発で幅を広げ、高くしたとのことですが、せせらぎ公園の所の右岸堤防は海拔9メートル、川向の左岸は7メートルと、差が2メートルもあるわけですから、左岸を1メートル位は高くできない

か開発局に陳情することが第一と思いますがどうお考えですか。

**答** 確認した段階では沙流川水系の河川整備計画は平成19年に作成され20年間の計画期間で優先順位をつけ必要なところを順次整備しているとの事です。堤防の増強工事、天板工事について富川地区は、ほぼ終わっている聞いておりますが、状況を確認しながら必要と判断した要望は随時行いたいと考えております。

【富川水源ポンプの洪水対策】

**問** 富川水源ポンプ場の洪水対策についてどのよう

に考えておりますか。

**答** 北海道開発局が沙流川の河道を掘削して河川断面を広げているので、水道事業としては、特に洪水対策は考えていません。

**問** 平賀第2水源において素掘りしたときに有害な成分が含まれていたため、

深層から水をくみ上げていると聞いており、富川水源も同じような水質だと思えますが、どのような検査を行っていますか。

**答** 毎月各配水池において水質検査を常時行っております。また、カリウム等の成分も適時検査をしながら供給しております。

【水道水の確保対策】

**問** 富川水源ポンプ場が洪水にあった時の水道水対策として、ポンプを2基稼働させ、1日6000tの地下水を取水し、2000tから2500tしか使

用してないと聞いている、北海道日高乳業㈱と業務提携を結び、地下水の余量供給を受けることができれば、直ぐに水道水を飲むことができる状況になると考えますが、日高乳業と業務提携をする考えはありませんか。

**答** 日高乳業のポンプは、工場長にお会いし、2基あることを確認、最大取

水量までは確認してはおりませんが、現在、日高乳業では地下水を1日約3000tポンプアップしており、そのうち2000t以上が会社で使用、供給できるほどの余裕がない状況とのことです。なお、富川水源ポンプ場が被災の場合、この量であれば賄うこともできないことと、富川配水池には、常時門別地区給水量の12時間分が貯水されております。また、緊急用井戸があり700tの水を供給できまますし、堤防決壊などの大きな災害が起きた場合は、自衛隊など供給の水が届きますので、そちらで対応を考えております。よって、業務提携は、現在考えておりません。

〔答弁者 総務課長・企画財政課長・水・くらしサービスマスター所長〕



白石 典昭議員

# 『町政の基本方針は』『平取町との合併協議は』『少子化、高齢化問題、人口減少は』

## 【町政の基本方針】

選挙期間中でも町長が1番に挙げていたスローガンに「まちを元気に」という言葉がありました。

### 問

私は、まずは「町を元気に」ということで、日高町の職員も第1に元気にならなければならぬと考えております。町民の元気の基を築くためには、300名程度の町職員の元気を取り戻してこそ始まるものだと考えています。町長の考え方について伺いしたい。

### 答

行政を去年1年間外から見ていますと、行政に元気がないという思いもあり、私が就任のとき職員に訓示しました。行政を牽引する役としての役場職員が元気にならなければならぬと思っています。同時

に地方自治の両輪である議会にも、忌憚のない真摯な意見交換をしていく中で、行政も議会も、活性化していくと考えています。

## 【平取町との合併協議】

### 問

私は、合併協議は沙流川流域の町が1つのブロックとして、未来・将来生きていく方向を議論する場であると考えております。当時の沙流3町の町長は、「地域の特性を活かした機能分担により、均衡ある発展」や、「厳しい地域財政状況」「少子高齢化対策など課題が山積み」等を提起しており、問題解決のため当時合併という選択を協議した一因と考えます。当時から見ますと、少子高齢化、人口減少問題も加速度的に進んでおり、平取町におきま

### 答

しても、年、100名程度減少、現在、5100名程度の人口になっております。これからの未来・将来に希望を託せる地域づくりの1つの選択として、今後、飛び地合併の解消、沙流川流域での合併を考慮し、少しずつでも話し合いの場を持ち、将来に向け検討していく事も、1つの選択であると思えます。町長の日高町の将来について、考え方を伺いしたいと思えます。

### 問

沙流3町で合併協議はスタートし最終的には平取町が抜け2町合併ということになりました。当時は特に旧門別町を対象に平取町に町の体質が違うと言われました。今、それから15年たちまして、改めて合併の話は、可能であると考

### 答

は、唐突な感はあるかとと思いますが、将来のことを見据え、沙流3町ではどうかというテーマは、考えられると思います。過去の合併には、合併特例債、交付税の算定替えなどが、合併協議の後押しになった、ということでもあります。今現在、なにもない状態で合併協議というのは、その時にくらべると、ハードルが高いと考えます。

### 問

【少子化、高齢化問題、人口減少】  
合併というテーマで、これから最大の問題である少子高齢化問題、人口減少について考えてきました。意見として、私たち議員は、町村の議事決定機関として、重要な政策の決定と行財政運営の批判

### 答

と監視の2つの大きな役割を果たすべきことをこの場で確認させて頂き質問を終了いたします。

### 問

議会とは、議会が単なるチェック機関だということではなくて、政策形成を含めて真摯に議論させていただきたいと、そういう環境を常日頃から持つていたいと考えております。

《答弁者 町長》

（この他に「町民と行政と協働による、地域の特性を活かした、自助と自立によるまちづくりについて」の質問がありました。）



佐藤はなえ議員

## 『「100万人訪問・調査」運動の結果』

### 〈質問概要〉

少子高齢化が、急速に進み、本格的な人口減少時代に突入。公明党は、4月～6月まで、4つの項目を設け、アンケート実施。その結果、日高町にも意見・要望が寄せられていたため、一部を紹介し、質問としています。

### 【子育て】

**問** 現在の授業料、保育料の負担が重い

**答** 公立高校の授業料が無償化、私立高校は一部が支援金により助成され、次年度は一部保育料の無償化が予定されています。今後もその内容に適切に対応していきます。

**問** 学校での副教材費用が重い

**答** 各小中学校での収入基準はあるが学用品費、体育実技用具費等支給しており、今後も継続する。

**問** いじめや学校生活での友人関係について

**答** いじめの有無を把握し、その状況に応じて対応。毎月一回、健康増進課保健師と、教育委員会青少年相談員による会を開催し、不登校の児童生徒が、登校できするための取り組みを実施しています。

〈答弁者 子育て福祉課長〉

### 【介護】

**問** 介護サービスの量や内容が不足している（ケアマネも含む）

**答** 町内介護保険施設は、全事業所149名の定員に対し、73%の稼働率で、現在は概ね対応できています。訪問介護事業は、門別地区各事業所について、ヘルパー配置数は余裕のない運用です。要介護が増加の予想、介護保険事業計画策定に向けて検討を考えています。

**問** 家族の介護に対する問題が心配

**答** 「要介護者」に認定されていても施設入所できない、「介護難民」「老老介護」「認知介護」今後、これら取り組みの周知と機能強化を進めていく必要を考えます。

〈答弁者 保険年金課長〉

### 【中小企業】

**問** 人材問題（不足）後継者探し

**答** 第一次産業と同様に大きな課題である認識はしているが、日高町商工会と協議の上、対応策を検討していきたいと考えます。

〈答弁者 経済観光課長〉

### 【防災・減災】

**問** 危険で改善が必要な場所を把握しているか。

**答** 水防被害予測箇所26、高潮・津波等危険区域7、地すべり・崖崩れ危険箇所134、土石流危険箇所40です。

**問** 避難所の安全対策、現状は

**答** 避難所運営マニュアルを平成29年度に作成、地震の際に危険基準を定め、目視で危険と判断された施設は避難所にはしない。

**問** 避難行動要支援者の把握と連携は

**答** 今年の6月1日現在、613名で、総務課で名簿を受け、自治会・消防・警察等と連携を取ります。

**問** 河川の治水対策

**答** 沙流川は河道掘削工事、堤防の高さの不足している箇所の整備等を計画的に進められ、他の河川も河川管理者が治水対策を行っています。

**問** 通学路の安全対策は

**答** 各学校から出された通路の危険箇所を確認、関係機関と改善に向けた対策を協議、7カ所が改善、安全対策には継続します。

〈答弁者 総務課長・企画財政課長・建設課長・教育委員会管理課長〉



高橋克徳議員

## 『介護に関する資格取得の町独自助成制度を』 『門別競馬場を活用した観光対策は』

【介護に関する資格取得に伴う町独自の助成制度】

**問** 町独自の助成制度を構築してはどうですか。

**答** 町内の介護保険事業所を対象に実施したアンケートにおいて、約8割の事業所が慢性的な職員不足であるとしております。このことから、第7期の介護保険事業計画としての取り組みの一つとして、介護人材の確保を挙げており、「介護初任者研修」、「介護職員実務者研修」等に対する助成制度を検討しております。

**問** 具体的な内容と、実施時期について伺います。  
**答** まずは、初任者研修と実務者研修への助成を考えております。将来的に

は、他の資格についても助成制度を考えております。

また助成の内容については他町で実施している内容を十分検討し、助成額や、町内在住や資格取得後の町内での就業等の義務化など細部にわたって検討をして参ります。また、実施時期については、今年度とし、補正予算対応とさせていただきます。

**問** 町独自の資格制度（介護サポーター）を構築し、初任者研修につながる方策は考えられませんか。

**答** 地域包括支援センターで実施している介護教室を受講された方に町独自の介護サポーターというような資格を付与して、知識を深めて頂

くような方策は非常によいアイデアであり今後の参考にさせていただきます。

**問** 介護職員確保の方策として、日高中部で実施している、介護事業者協議会というような組織は確立できませんか。

**答** 現在地域ケア会議というものを実施しております。介護職員同士の横のつながりは大事なものであることは認識しており、今後、日高中部で行われている協議会組織を勉強させていただきま

す。

《答弁者 門別地域包括支援センター施設長・保険年金課長》

【門別競馬場を活用した観光対策】

**問** 本場入場者数の前年との比較と、札幌からの無料バスへの乗車率はどのようになっていますか。

**答** 天候や開催日が祝日でなかったことが要因で約2千5百人ほど減少しております。

また、無料バスの乗車率は前年度56%であります。

**問** 無料バスの実施主体、乗車定員、札幌での周知方法はどのようになっていますか。

**答** 実施主体は北海道軽種馬振興公社であります。45人乗りのバスで運行しており、運行業務自体が公社でありまして周知の方も公社という形ではありますが、

町と致しまして、いろんな機会に競馬のPRに向いており、その機会で、今後周知をしておきたいと考えております。

**問** 札幌市内の老人クラブへ周知する、担当セクションを経済観光課において実施できませんか。

**答** バス運行の主体が公社でありますことから即答はできかねますが、そのような意見があったということを、公社にお話をさせていただきます。

《答弁者 経済観光課長》





小園 暁子 議員

## 『ホッカイドウ競馬の振興を』 『日高町の学校教育は』

### 【ホッカイドウ競馬】

**問** 今年度の販売額が対計画比で下回っている様ですが、現時点での計画額販売額、また、その原因と対策について伺います。

他の競馬場と比べて、独自の魅力を発信するための方策もありますか。

**答** 5月31日の数値で計画額は46億2075万円、販売額は41億3360万円との発表です。原因として

重賞レースが昨年より少ない、南関東競馬との開催日のズレ等が考えられます。

独自の魅力発信の方策については、今年度はグランシャリオナイター10年目の節目であり、魅力的レースの提供、馬産地日高の特色を生かしたイベントの開催等売り上げを伸ばす方策が進められております。

**問** ここ数年、門別競馬場のファンファーレを静

内高校にお願いしています。が、地元富川高校の吹奏楽部も熱心な教員の指導で実力をつけており、演奏の機会を与えてくださいませんか。

**答** 実現に努力します。

〈答弁者 町長・経済観光課長〉



▲富川高等学校 吹奏楽部

### 【日高町の学校教育】

**問** 当町の小中学生の学力が全国テストの結果、低いことへの対策をお答えください。また富川高校の

入学者が減少し、今後厚い助成の他、学力を上げる取り組みも急務と思いませんか。

**答** 当町の小中学生の学力は日高管内でも下位に位置しており、早急に取り組むべき課題であると認識しております。小学校入学時からきちんと授業を受けられる様、町内全ての保育所、幼稚園に講師を派遣し、学習習慣や体力、運動能力向上のための事業を実施しております。富川高校存続のための取り組みについては、各種資格検定料や進路対策事業の補助を行っております。

**問** 当町は、学力向上のため、幼児教育へ舵を

切った様に見えますが、道立高校の再編成が進んでいる今、義務教育のレベルを上げることも富川高校の存続に繋がるのではありませんか。

**答** 管内で今後高校教育を考える会の準備を進めており、存続に向けた取り組みをすることになっていきます。

〈答弁者 教育委員会管理課長〉



# 4月会議

平成30年4月18～19日

## 同意

### ▼監査委員の選任

議会选择出

門別 初男氏（字庫富）

が選任されました。

同意

### ▼本庁担当副町長の選任

深根 英範氏（門別本町）

が選任されました。

### ▼教育委員会教育長の任命

武田 啓嗣氏（富川東）

が任命されました。

## 報告

報告

### ▼専決処分の報告（29年度

一般会計補正予算）

### ▼専決処分の報告（29年度

日高町簡易水道事業特別会

計補正予算）

## 議案

原案可決

### ▼工事請負契約

日高町簡易水道施設災害

復旧（千栄浄水場施設改修

建築主体工事）

○工期

30年4月20日から

31年1月31日まで

○契約金額

5184万円

○契約の相手方

磯田建設株式会社

日高町簡易水道施設災害

復旧（千栄浄水場施設改修

電気・機械工事）

○工期

30年4月20日から

31年1月31日まで

○契約金額

9191万円

○契約の相手方

新栄クリエイト株式会社

### ◆30年度補正予算 原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計	8152万円増	104億6652万円

#### ●主な内容（一般会計）

災害復旧工事	7900万円
住宅建設 過年度国庫支出金返還金	252万円

# 5月会議

平成30年5月10日

## 議案

原案可決

### ▼工事請負契約

（日高国保診療所旧診療所

解体工事）

○工期

30年5月14日から

30年8月31日まで

○契約の相手方

磯田組・中口特定建設工

事共同企業体

### ▼工事請負契約の一部変更

（準用河川賀張川河川災害

復旧工事 6工区）

○工事概要変更

（前）199・9m

（後）217・4m

○工期変更

29年11月10日から

（前）30年5月21日まで

（後）30年6月29日まで

○契約金額変更

（前）5724万円

（後）6286万円

○工期変更

29年11月9日から

（前）30年6月29日まで

（後）30年7月31日まで

○契約金額変更

（前）1億0778万円

（後）1億1260万円

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

▼放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

▼税条例等の一部改正

▼国民健康保険税条例の一部改正



# 5月第2会議

平成30年5月25日

## 町長の行政報告

### 門別国民健康保険病院院長の退職

平成18年4月1日から勤務頂いている大友透院長が、一身上の都合により残念なことではありますが、本年6月30日付をもって退職することとなりました。

大友院長は、当初北海道公立大学法人札幌医科大学から派遣されておりましたが、平成18年10月1日から病院長として勤務され、派遣期間が終了した後も引き続き当町の職員となり、通算12年余の長きにわたって地域医療に大いに活躍頂きました。

この間、病院の経営改善に積極的に取り組まれるとともに、高齢化が進む中で在宅医療やニーズの高い人工透析など、住民が求める医療の提供に尽力され、地



▲門別国民健康保険病院

域に根ざした医療を行って頂いたところであります。

また、救急医療体制を堅持するため、日高西部消防組合と連携し合同救急研修を勧奨するなど、安心して受けられる医療提供体制を整備していただきました。

なお、後任の医師確保につきましても、札幌医科大学及び北海道地域医療振興財団などに医師招聘を懇請いたしており、早急に目処をつけたいと考えている次第であります。

## 議案

原案可決



### ▼工事請負契約

公営住宅新築建築主体工

事（北通団地30ⅠA）

○契約金額

6890万円

○契約の相手方

株式会社中村産業

公営住宅新築建築主体工

事（北通団地30ⅠB）

○契約金額

6858万円

○契約の相手方

株式会社中村産業

## 議案等賛否一覧表

（賛否が分かれた議案等のみ掲載しています。掲載されていない議案等は全会一致で可決しています。）

会 議 名	提 出 者	議 案 名	議員名	議決結果	寺越哲夫	小園暁子	白石典昭	佐藤則男	梅木聡	高橋克徳	工藤守弘	眞壁悦夫	互野利夫	門別初男	村井文夫	佐藤はなえ	神保一哉	菊地日出夫	西尾英俊	
				議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
5月会議	町	日高町国民健康保険税条例の一部改正		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	※議長

○：賛成    ×：反対    欠：欠席    退：退席    ※1 議長は表決権がない（一部を除く）

## ● 議会のうごき ●

### 【4月】

- 11日 新任議員研修会
- 18日 議会4月会議（1日目）  
議会運営協議会  
全員協議会  
総務・民生常任委員会  
産業・建設常任委員会  
広報広聴常任委員会
- 19日 議会4月会議（2日目）  
政策討論会

### 【5月】

- 10日 議会5月会議  
議会運営委員会  
全員協議会
- 25日 議会5月第2回会議  
議会運営協議会  
全員協議会  
政策討論会
- 28日～29日  
町村議会議長・副議長研修会（東京都）
- 30日 日高町村議会議長会定期総会（新冠町）

### 【6月】

- 11日 全員協議会
- 12日～13日  
北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 15日 議会運営委員会
- 19日 議会6月会議（1日目）  
全員協議会  
広報広聴常任委員会
- 20日 議会6月会議（2日目）  
産業・建設常任委員会  
総務・民生常任委員会
- 21日 議会6月会議（3日目）  
全員協議会  
政策討論会幹事会

### 【7月】

- 3日 北海道町村議会議員研修会（札幌市）
- 4日 日高町議会議員研修会（倶知安町）
- 13日 広報広聴常任委員会

## 委員会活動

### 広報広聴常任委員会

6月19日、7月13日、7月30日  
・議会だより



▲日高町議会議員研修（倶知安町）

## 議会傍聴に行こう

会議当日に議場傍聴席入り口の受付にて氏名等をご記入  
いただだけで傍聴できます。

※日高総合支所では、テレビ中継で傍聴ができます。

次の会議は **9月11日・12日・13日**を予定しています。



## 編集後記

日高町議会は、3月末に行われた議員改選により、4人の新人議員を迎えました。これにより、議会広報広聴常任委員会も、3人の新人議員を加えた、新しい体制となりました。

3・6・9・12月議会だよりは、いかに町民のみなさんに読みやすい紙面にするかが、委員会の変わらぬ課題です。

新たな意気込みで、皆様に親しまれる広報づくりに努力します。

ご意見等をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

発行 北海道日高町議会  
発行日 平成30年8月23日  
編集 広報広聴常任委員会  
真壁 悦夫 梅木 聡  
佐藤 はなえ 互野 利夫  
工藤 守弘 高橋 克徳  
佐藤 則男 白石 典昭  
住所 〒059-2192  
北海道沙流郡日高町門別本町210-1  
TEL 01456-2-6500 FAX 01456-2-5611